

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	デイサービスセンター運営事業			
予算科目	3 款 1 項 10 目			
総合計画での位置付け	福祉の向上と保健・医療の充実～やすらぎとぬくもりのまちづくり～ 高齢者対策の充実			
所管課情報	担当課:	長寿介護課	電話番号(内線):	544
記入者情報	所属長:	武智 茂記	担当責任者:	野島 孝美
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 17 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	在宅の要支援高齢者			
根拠法令等	老人福祉法、伊予市老人デイサービスセンター条例			
事業の目的	在宅の要支援高齢者に対し、通所により各種のサービスを提供することによって対象者の生活の支援、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の負担を軽減する。			
事業の内容	指定管理協定により、えひめ中央農協に管理運営を委託し、施設の維持管理や目的達成のための事業を行う。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)				
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	1,347	4,950	332	4,858
	人件費	162	318	318	318
	合計	0	5,268	650	5,176
人件費 内訳	人工数	0.02	0.04	0.04	0.04
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	162	318	318	318
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	150	0	0	150
	一般財源	1,359	5,268	650	5,026

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
一日平均利用者数(もものさと)	人	19.3	20	16.8	15.2

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
	1,250	500	500	500	500	3,250

成果指標				
成果指標	伊予市老人デイサービスセンター「ものさと」の一日平均利用者数を21人以上にする。			
指標設定の考え方	伊予市デイサービスセンター「ものさと」は介護保険事業所として活用され、主に介護保険収入により運営されている。定員は30人であるが、デイサービスを提供する民間の事業所も増加し、現状は一日平均20人前後で推移している。今後、対象者が増加することが見込まれるため、指標を設定し動向を把握することとした。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	
目標	21.0人	21.0人	21.0人	0
実績	19.3人	15.2人	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	今年度は、入浴リフトの設置により事業費が増加したが、平均利用者数は昨年度の実績を下回り、目標達成に至らなかった。民間の事業所との競合もあり厳しい状況ではあるが、利用者の増加に向けて指定管理者の一層の努力を期待したい。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	昨年度より利用者が減少したが、高齢者の生活の支援、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、その家族の負担を軽減するために必要な事業であり、指定管理者と連携をとりながら利用者増を図って欲しい。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価 (行政評価委員会)	
-------------------	--

経営者会議の最終判断

事業の方向性	現状のまま継続する。
意見、課題	